

令和6年度第12回士別市教育委員会会議録

1. 日 時 令和7年2月28日（月）午後1時30分～午後3時10分
2. 会 場 士別市教育委員会 会議室
3. 出席者 教育長 泉 山 浩 幸 生涯学習部長 三 上 正 洋
職務代理者 馬 場 千 晶 学校教育課長 岡 田 詔 彦
委 員 加 藤 洋 之 社会教育課長 千 葉 真奈美
合宿の里・スポーツ推進課長 徳 竹 貴 之
欠席 山田敦久委員、多田千鶴委員

4. 議 件（発言者、議事要旨及び議決事項）

1 教育長挨拶

- ・教育行政執行方針を作成した。令和7年度は3つの柱としており、4月の教育推進会議で重点という形でスポット化して作成する。

【各種イベント等について写真などを用いて説明】

- ・まちづくり塾の7期生6人が卒塾。今年度は、チャレンジ応援事業にも参加した。最後の卒塾生となるが、今後もいろいろな事業に協力いただきたい。
- ・小学校・中学校のカリキュラムは年間1015時間だが、17%は1086時間。インフルエンザとか不測の事態が生じたときの余剰だが、少し多いのではないかという新聞記事。
- ・教育委員会職員に示す3月のスローガン。学校ではこの時期に「有終の美」という言葉を使う。教育委員会もこれまでの仕事を成果につなげる3月ということを伝える。また、この時期、不登校傾向、学校に馴染めない子は、新しい学年で変わりたいと思っている。「殻を破る」というキーワードが大事。更に「想像力」が大事で、私たちの仕事もゴールを明確にし、どういう道筋を辿っていくかという「イマジネーション」（想像力）が大事である。

2 議事について

○泉山教育長 進行

議案第38号 令和6年度士別市教育委員会補正予算について、説明を求める。

○岡田課長、徳竹課長、千葉課長、三上部長

- ・令和6年度の各事業（奨学金貸付事業費、遠距離通学助成事業費、教育格差解消事業（就学援助事業）、小学校整備事業、小学校教員住宅整備事業費、小学校空調設備整備事業費、朝日三望台シャントエ整備事業費、文化センター管理運営事業費、生涯学習センター管理事業費）の執行残などによる減額補正予算について説明。

○泉山教育長

補正予算について意見はあるか。

○加藤委員

三望台シャントエの入札の執行残がずいぶん多い。

○徳竹課長

当初の設計金額は、部材高騰や設計変更にも対応できるようにプラスして見ている部分もある。

○泉山教育長

予定価格で10パーセントぐらいを見込んで積算している。

○馬場代理

奨学金の貸付事業について、回収の状況は大丈夫なのか。

○三上部長

去年も完納している報告を受けているので、あるのは滞納繰越分だけだと考える。

○泉山教育長

その他についてはよろしいか。

このとおり第1回定例会に提出する。

○泉山教育長

議案第39号 士別市小中学校適正配置計画検討委員会設置要綱の制定について、説明を求める。

○岡田課長

適正配置計画については、12月に検討委員会を設置し、これまで検討いただいている。検討委員会設置に必要な事項について要綱として定めるもの。

○泉山教育長

このとおり制定することとしてよろしいか。

(全員了承)

3 その他

◇令和7年第1回定例会大綱質疑について

三上部長、岡田課長、千葉課長、徳竹課長から質疑内容を説明

◇当面する今後の日程について

三上部長説明

○泉山教育長

議案第40号 令和7年度士別市学校教職員の人事異動について、説明する。

午後2時50分 秘密会を宣する

午後3時10分 秘密会を解く

午後3時10分、会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署 名 者

泉山浩幸

会議録調整者

岡田 詔彦